

<調査結果報告>

消費意識と消費行動の変化に関する調査（2026年5月）

三重県内の事業所で働く人を対象に、「ここ最近の消費に関する意識や行動の変化」について調査しましたので、結果を報告します。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

【担当】株式会社百五総合研究所 地域共創事業部 谷ノ上（たにのうえ）
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105

【調査概要】

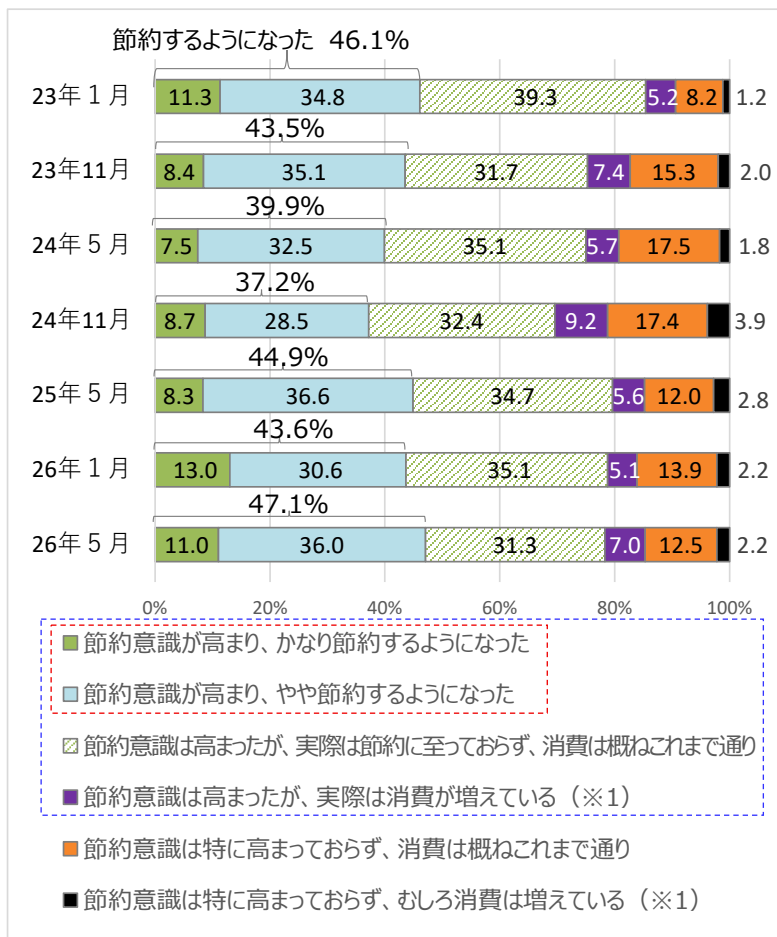
- 調査期間：2026年5月13日～5月25日
- 調査対象・回答数：三重県内の事業所で働く272人
(※) 四捨五入の関係でグラフ内の内訳の集計と合計値が一致しない場合がある。

【調査結果】

◆節約志向が強まる

県民の節約志向が強まっている。ここ最近「節約意識（節約しようあるいは節約した方が良いという意識）が高まった」人の割合は計85.3%となり、26年1月から1.5ポイント上昇した。また、「節約意識が高まり、節約するようになった」人は、「かなり節約」が11.0%で26年1月より低下したものの「やや節約」は36.0%に上昇し、合わせて47.1%となり1月（43.6%）よりやや上昇した。3月以降、中東情勢の悪化の影響等により、石油由来製品を中心に価格高騰していることなどが消費マインドと行動に影響したとみられる、

■三重県民の節約意識と消費行動の変化



(※1) 物価高による増額の影響分は除く。